

校長のつぶやきⅡ

校長室便り 第10号

令和2年6月3日 山内

〇部活動も再開 – 1年生は部活動見学 10日(水)部登録 –

部活動も再開されました。様々な制約はありますが、生徒が活き活き動いている姿を見るだけで、高校が単なる建物から生き物に変わります。

2日(火)放課後、二人の三年生に声をかけたくて野球部グラウンドに行きました。14ヶ月前、私をはじめて挨拶を交わした岩高生の二人、野球部の及川君と松浦君です。私は当時のことを記念すべき校長のつぶやき第1号で次のように書いています。

「平成31年4月8日(月)7時40分位に正門を通ったところ、お一人の先生が立っていました。岩高生なら誰でも知っている吉田先生です。朝早くから岩高生一人一人に声をかけていただいています。その後校長室に向かうとき、岩高生268名の中で最初に言葉を交わしたのは2年生野球部の及川君と松浦君でした。元気に挨拶してくれました。彼らはゴミ拾いの用具を持っていました。朝から清掃活動だったのでしょうか。野球部は少人数で他校と連合チームと聞いていますが、野球の技術や勝敗よりも野球部はすばらし取り組みをしているのだと思います。たった一日の朝の挨拶運動にもすてきな出会いがありました。」 – 第1号平成31年4月8日 –

監督の岩淵先生と当時部長の工藤先生とたった二人の部員で厳しい冬を越え、毎朝学校周辺のゴミ拾いをしていくこと、新入生の入部を待っていることを数日後に聞きました。当時の新入生、現在の2年生3名が入部しましたが、単独チームは編成出来ず、4校連合軍で春の大会に臨みました。夏の大会も連合チームでしたので、秋の大会もと思っておりましたが、岩高野球部はたった5人で一冬を越え、春そして夏の大会を目指して新入生の入部を待ちました。真冬の1月8日にはサプライズで今野先輩が来校し、野球部を励ましました。

今回のコロナウイルスの影響で、全国高校総体や夏の甲子園がなくなったことがわかった時から私はずっと考えていました。二人をはじめ部活動の3年生に何と声を掛けようかなど。昨日から練習試合が始まった東京ヤクルトの今野先輩も心配してくれていると思います。昨日は岩淵監督に、新部長の鈴木先生も加えた7名でグラウンド整備をしていました。二人にはそれぞれ、「夏の大会の代替大会が有る無しにかかわらず、自分が決めた日まで、野球をやりきってほしい。松浦君は及川君に、及川君は松浦君に感謝してほしい。私はいつでも応援しているし、大会の開催や勝敗にかかわらず野球部の頑張りをたたえます。」二人はそんなことは当然とばかりに私にうなずいてくれました。

1年生諸君は現在部活動見学中、10日(水)の部登録までにじっくり考えて部活動を決めて下さい。様々な制約があって、不自由な活動になることは間違いありませんが、授業とは別に得ることの多い部活動に励んでください。そして1年生諸君には、プロ野球選手になった今野先輩と同じくらいに、たった二人でも三年間野球をやりとおした及川先輩と松浦先輩のことを誇りに思ってください。このことが分かれば、立派な岩高生です。ダサイ・ウザいでは見込み無し。では今回のつぶやきはこれでお終いです。マスクと検温徹底して下さい。

